

事務事業名 高校生のための就職支援事業

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	4	雇用と就業環境づくりの推進
小分類	1	生涯を通して働ける環境づくり
主要な施策	1	若年者の就業支援
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 14 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	就職を控えた高校生を対象に、働くことへの意識の醸成、地域産業や企業に対する理解を図るとともに、職業選択の視野を広げるなど、就職に向けた支援を行うことを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	登別市・室蘭市・伊達市の3市合同で、高校生を対象に就職応援講座を実施したほか、市内3高校(うち1校中等学校)の生徒を対象に、インターンシップ事業(就業体験)を実施した。 【事業実績】 ・高校3年生向け就職応援講座(職業興味検査、就職活動の心構え、個別・集団面接等) 2日(2会場)開催...参加者数 30人 ・高校2年生向けキャリア教育講座(基礎知識セミナー、職業興味検査等) 3日(3会場)開催...参加者数 25人 ・インターンシップ事業 一般企業...参加者数 22人 受入企業数 10社 看護体験...参加者数 29人 受入病院数 4病院
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	新規高卒者の雇用環境が厳しいことに加え、就職後3年以内の離職率も高く、職業意識の醸成や職業選択の視野を広げることで、就職率の向上及び離職率の低下を図ることは重要であることから、今後も継続して実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	73	54	190	190	190
事業費合計			73	54	190	190	190

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	新規高卒者の就職率(ハローワーク室蘭管内)	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	98	99.5			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
実施時期・会場：3市の各会場により実施 インターンシップ希望者の意向を確認して事業者を決定・実施	実施日等を決定については、学校毎のスケジュールが様々であることから、各学校に参加可能な日時等の確認を行い、少しでも多くの生徒の参加ができるよう日時を決定実施。 これまで同様、極力インターンシップ参加希望者が体験した企業等へ受入協力を求め、一人でも多くの生徒が体験できるよう努める。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 既に3市及びハローワーク室蘭等と連携し実施しているが、必要により未連携自治体や団体等の協力により広域化が可能となる。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 雇用情勢が厳しい状況にあるため、早期からの就労意識の醸成が必要であるため。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 1市より3市で実施することにより、事業経費の縮減が図れる。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 同事業参加者の就職内定状況の把握が難しいため。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	新規高卒者を取り巻く雇用環境は厳しい状況が続いており、高校在学中に企業や仕事に対する理解を深めてもらい、就職率の向上を図ることを目的とした事業である。また、3年以内の離職率が高く、地域振興の担い手となる新規高卒者の支援ため維持は必要である。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----